

# 神楽通信

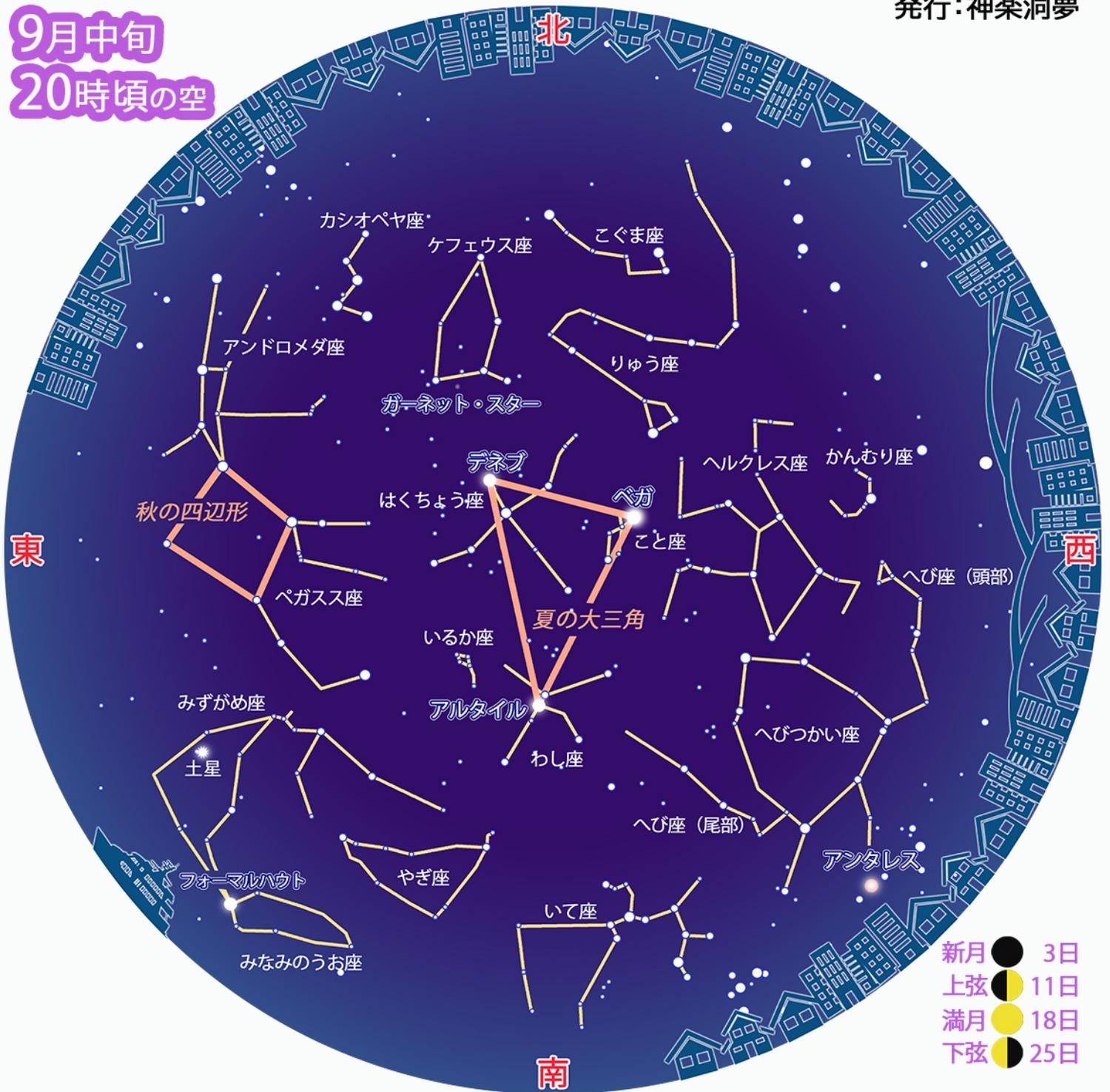
No.103

2024年

9月号

発行:神楽洞夢

9月中旬  
20時頃の空



夜の暑さも和らいで、涼しい秋風を感じながら星空を観察できる季節になりました。17日には、満月に近い形の「中秋の名月」を一晩中楽しむことができます。この日、月のすぐそばには土星がありますが、月明かりで見つけにくいかもしれません。そんな太陽系の星々の向こうには、1等星をはじめとした宇宙の遙か彼方にある星たちが輝いて見えます。

## 宝石の名前が与えられた星、ガーネット・スター

「夏の大三角」の一角であるデネブが天頂からやや西に傾く頃、秋の星座の一つ、ケフェウス座が北の空高くに上っています。

ケフェウス座は、3等星から4等星の比較的暗い星たちで結ばれる、細長い五角形の星並びが特徴の星座です。

近くに見える、はくちょう座やカシオペヤ座などと比べると、郊外でも星を結ぶのは難しいかもしれません。

しかし、ケフェウス座の特徴的な五角形を結ぶことができれば、その近くに周囲の星とは違う色の輝きの星を見つけることができます。ケフェウス座μ星「ガーネット・スター」です。

名前に付けられている宝石のガーネットのような、赤く輝く4等星の星で、細長い五角形の底辺部分からデネブ寄りの位置に見えます。



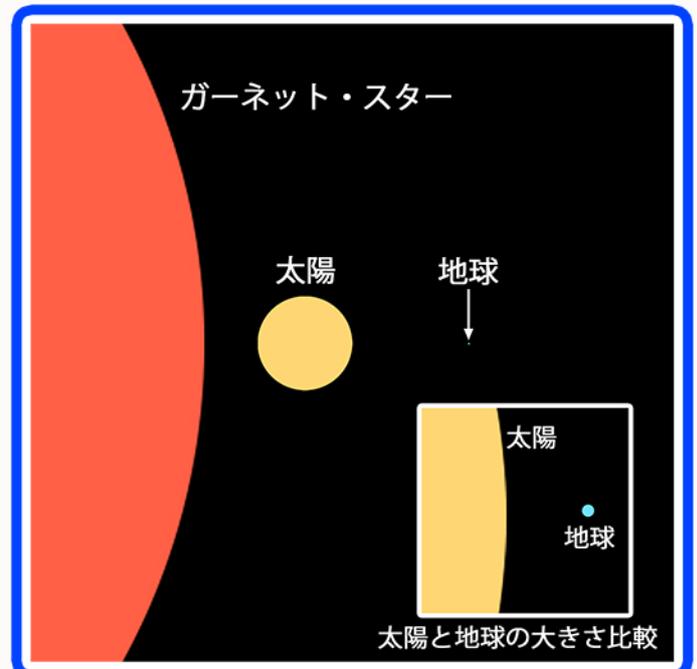
ガーネット・スターの位置

## 肉眼で見える最大の星

ガーネット・スターのような赤い星は、年若い膨らんだ巨大な星であることが多く、他にも、さそり座のアンタレスや、オリオン座のベテルギウスがあります。

この二星も巨大で、太陽の数百倍から1000倍近くの大きさがあるとされていますが、ガーネット・スターの大きさは現在、太陽の1200倍以上と考えられており、肉眼で見ることのできる恒星の中では最大のものです。

ただ、5000光年以上の遥か彼方にあるため、地球からは暗い星の一つとして目に映ります。この赤い星は、果てしない宇宙の広がりを見せてくれる星でもあるのです。



ガーネット・スターと太陽と地球の大きさ比較